

防災行政無線を用いた

緊急地震速報訓練

を行います



日時 6月17日(木) 午前10時ごろ

内容 防災行政無線の試験放送

- ①防災行政無線（屋外スピーカーおよびすべての戸別受信機）から、訓練用の緊急地震速報が最大音量で放送されますのでご注意ください。
- ②気象・地震活動の状況等によっては、試験放送を中止することがあります。

この訓練は、全国瞬時警報システム（Jアラート※）を用いた訓練で、周防大島町以外の地域でも、全国的にさまざまな手段で情報伝達の訓練が実施されます。

※Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から市区町村へ、人工衛星などを通じて瞬時にお伝えするシステムです。

☎総務課 消防防災班 ☎0820 (74) 1000

山口県立大学および周防大島高等学校との包括的連携協力に関する協定を締結しました

4月28日、周防大島町と山口県立大学および周防大島高等学校は、相互に連携して人的・知的資源の交流および活用を図ることで、周防大島の地域活性化と相互の発展に寄与することを目的とした包括的連携協定を締結しました。

主な事業は、周防大島高校「アロハ・プロジェクト」で、3者が協力・連携して周防大島の特徴的なアロハシャツを作製し、学校行事や地域イベントで着用することで、学校の魅力、地域の魅力として発信していきます。また、人材育成、教育、国際交流推進に関することなど、地域活性化を図る事業に取り組んでいきます。

▶協定を結んだ山口県立大学前川剛志理事長④、藤本町長④、周防大島高校大田真一郎校長④



地域おこし協力隊（観光協会）の新井です。2018年5月から（一社）周防大島観光協会に委嘱されてから3年が経ち、4月末にて任期満了に伴い今回が最後の投稿となります。

振り返れば初年度2018年10月に大島大橋に貨物船が衝突し40日間にも及ぶ断水を経験しました。断水期間中は来島される観光客が激減する中、地元事業者の皆さまと共に他市町への催事を行いました。

「がんばつちよるけー！周防大島」を掛け声に翌2019年は復興イベントとして、周防大島初の熱気球乗船を目玉とした「PLAY FES.」等のイベントを開催し、多くの皆さまのご支援、ご協力を賜りましたことをお礼申し上げます。

また、夏の風物詩「サタデーフラ」では運営として多くのことを学び、夏の周防大島を盛り上げる一端を担えたことをとても嬉しく思っています。昨

地域おこし協力隊員 新井謙太郎の

しましまタイムズ

SHIMASHIMA TIMES

27

周防大島観光協会
☎0820 (72) 2134



▲周防大島観光協会の仲間と行った「シマタビ」ロケの様子

年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い多くのイベントが中止となりましたが、ケーブルテレビにて観光協会番組「シマタビ」をスタートし、島内のグルメや瀬戸内アルプス、レンタサイクルを紹介させていただきました。

右も左も分からない時から住民の皆さまを含む多くの方々に助けていただき無事に3年の任期を終えることができました。

短い期間ではありましたが、本当にありがとうございました。

【P 10 答え:第1位】 20カ国のうち、日本人が一番長く座っており、座り過ぎの危険が高い状況です。